

ナチュラルホテル



所在地：北海道富良野市朝日町1-35
 建築面積：545㎡
 延床面積：2,480.3㎡
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地下1階、地上7階、塔屋1階
 設計：近藤康夫十近藤康夫デザイン事務所
 大成建設(株)一級建築士事務所
 施工：建築／大成建設(株)
 電気／(株)きんでん
 オープン：平成19年4月

JR富良野駅前にオープンした、ビジネスホテルの機能性とリゾートホテルの快適性を併せもつ「ナチュラルホテル」。照明は間接光を中心に採用し、光源を見せずに空間を演出する工夫が随所に計画されています。

「ナチュラル」と「リラックス」を追求し、自然を感じながら心身ともに癒される空間を提供

JR富良野駅から徒歩1分の立地に平成19年4月にオープンした「ナチュラルホテル」(ナチュラル+リラックスの造語)。客室は、どの部屋からも目の前に広がる雄大な景色が眺められるように片廊下式を採用し、バスルームに窓を設けた開放的なダブルルームをはじめ、自然と癒しが随所に盛り込まれているシングル、ツインなど8タイプの種類が計70室、全てがバリアフリー設計となっています。

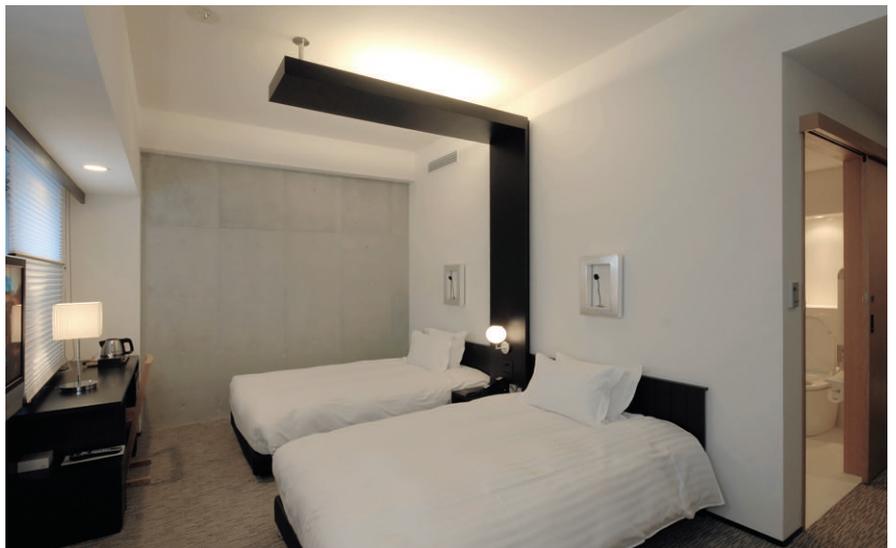
1階には外来者も利用できる大浴場があり、男性浴場にはサウナ、女性浴場には岩盤浴とエステルームなど、リラクゼーション施設を完備。「ナチュラル&リラックス」のコンセプトを実践した、心休まるもてなし感が提供されています。

間接照明を多用し、天井面、壁面を効率よく均一に照明。光を周すことで空間全体の明るさ感をアップ

エントランスロビーへと続くアプローチの照明は、天井の壁面側に設けた直線的な間接光と、もう一方の天井部に設けた床面照射のダウンライト(JDR50W)のメリハリのある明かりにより、訪れる人を暖かく迎え入れるもてなしの空間を演出しています。商品が陳列されているエントランスロビーや、本棚が配置され、大きなピクチャーウィンドから雄大な景色が見渡せるラウンジは、天井に間接照明を施して奥行き感を与えながら、内部空間を包み込む柔らかな光環境としています。商品や本棚、テーブルへは、ユニバーサルダウンライト(JR12V50W)を配置し、光源が人の目に入らないように考慮しながら演色性のよい光で必要照度を確保しています。

天井高2.8mの客室は、コンクリート打放しの壁に木部が黒(又は焦げ茶)のツートンカラーの空間。アクセントとなっている木部は天井、壁、テレビ・シンク台と一体化し、木部の裏側にトラフを配置したアッパーライトの間接光(FL20W)で天井をより高く演出し、ゆとりの空間を創り出しています。またベッドサイドの照明は吹きガラス製のアロマトレー付ブラケットを採用し、明るさを確保するだけでなく、癒しの効果をもたらしています。

各階の廊下は明るさと眺望を確保するため片廊下とし、各客室のルームナンバーは数字を彫った石を採用。この石を際立たせるため、ユニバーサルダウンライト(JDR40W)が設置され、外壁側の折り上げ天井内には間接照明を施し、ソフトな地明かりが得られています。



客室ダブルルームの照明 アクセントとした黒の木部の天井側の裏に設置したトラフによる間接照明で、天井面に光を周した柔らかな光環境。テーブル上や窓側の下がり天井には冷暖房効果の損失を抑える断熱施工用ダウンライトを配置



アプローチの照明 左側壁面の間接照明と天井の右側に配置したダウンライトで床面にメリハリをつけた明かりにより、もてなしの空間を演出



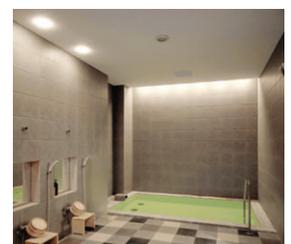
エントランスロビーの照明 空間に広がり感のある間接照明と、演色性のよいハロゲンランプユニバーサルダウンライトで展示品の色合い、形状を美しく表現



ラウンジの照明 ピクチャーウィンドの上部に間接照明を施し、景色が見渡せるように配慮



廊下の照明 ガラス壁側に間接照明。ルームナンバーを彫った石にはユニバーサルダウンライトで照射



外来者も利用できる浴室の照明 防湿防雨形ダウンライトを配置

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
室内	ダウンライト	BFD-10825SEL	147	15W電球形蛍光ランプ
	ダウンライト(調光形)	FHD-31504-PD	11	32Wコンパクト形蛍光ランプ
	ユニバーサルダウンライト	IHD1256N (W)	97	50Wローボルトハロゲンランプ
		IHD-2584 (K)	72	40Wハロゲンランプ
		ID-7288R (W)	20	60W形ミニクリプトンランプ
	笠なし器具	FHT-41007N-PM	236	32WHF蛍光ランプ
	スポットライト	HT-0700IMF (K)-PM	6	70Wセラミックメタルハライドランプ(CDM-T70W)